

【自然公園面積の増加率】

33.0%

自然公園は、国立公園・国定公園と都道府県立公園からなる。我が国を代表する自然景観・景勝地と地域生態系の保護を目的に指定されている。2012年3月末現在、日本の自然公園面積は543万haあり、国土面積の14.4%を占めている。

環境省自然環境局調べによると、2002年から2012年にかけての10年間で、沖縄県内の自然公園面積は33.0%も増加している。これは全国2位の伸び率となっている。昨年度末に「西表石垣国立公園」に含まれる海域面積が従来比12.4倍も拡大されたことを反映しているようだ。全国トップとなった京都府では、2007年に旧丹後国一帯が丹後天橋立大江山国定公園に指定されたことから、195.8%増となった。その他の上位地域でも、海幸に恵まれた場所の自然公園拡大が目立つ。なかでも沖縄の豊かな海は魅力的な文化資産だろう。(海邦総研/玉城有一朗)

(2012/2002年)

順位	都道府県	増加率 (%)
1位	京都府	195.8
2位	沖縄県	33.0
3位	和歌山県	22.5
4位	福島県	6.5
5位	大阪府	5.0
6位	鹿児島県	4.9
7位	富山県	4.8
8位	岩手県	2.3
	全国平均	1.2

掲載日 2012年12月2日

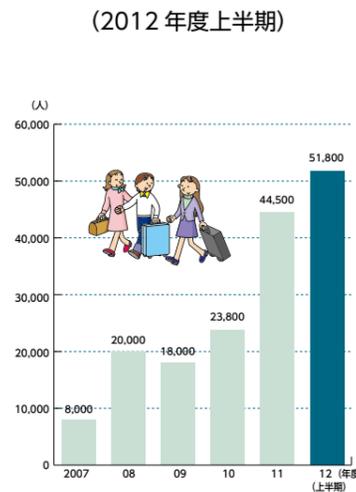
【中国本土からの観光客数】

51,800人

外国人観光客というと、通常どの国の人々をイメージするだろうか？沖縄県の「入域観光客統計」によると、今年度上半期までの中国本土からの観光客数は51,800人。すでに昨年度1年の実績を上回っている。香港、台湾を含めた中華圏でみると191,000となっており、外国人観光客の約8割を占めている。中華圏からの航空路線の開設増便やクルーズ船の寄港数の増加などが大きな要因といえそうだ。

今年度後半は尖閣諸島関連の影響により、中国本土や香港からの観光客数が減少した。中華系の観光客は沖縄県にとって今後も大切なおお客様であることに変わりはない。県民として、来ていただくのを待つだけでなく、相手の国に観光に行くなど、互いの交流を深めることも必要だろう。来ていただいたお客様には、沖縄ならではの心でお迎えしたい。

(海邦総研/中山禎)



掲載日 2012年12月9日

【就業者数の増加率】

3.1%

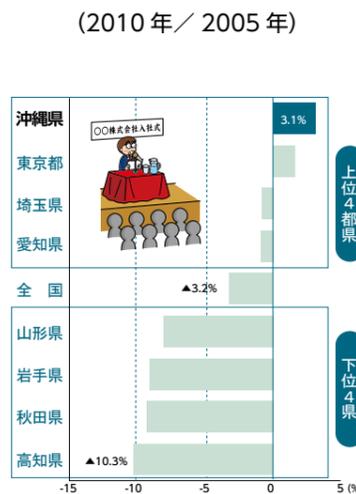
“完全失業率は全国最下位”

沖縄の雇用環境を表現する際によく使われるフレーズだが、ちょっと視点を変えてみると県内の雇用環境は着実に改善に向かっているといえそうだ。

2010年国勢調査の就業者数は57万9000人。05年調査と比較すると3.1%増加し、増加率では全国トップだ。全国的には2.7%減少となっている。県内は観光産業における求人や企業誘致による職場の増加などによって、就業者数は着実に増加している。

労働力人口の増加率も全国一となっているため、失業率は大きく低下していないが、県内の雇用情勢は上向き基調だといえよう。

「みんなでグジョブ運動」の目標である「雇用情勢の全国平均並みまでの改善」のためには今後、就業者数を増やすと同時に、離職を防ぐ対策も重要になってきているのではないだろうか。(海邦総研/島田尚徳)



掲載日 2012年12月16日

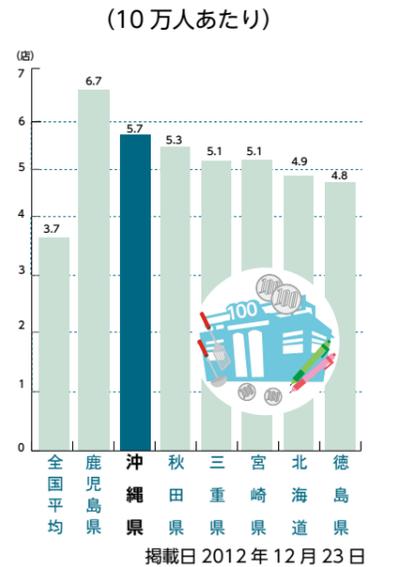
【100円均一ショップの店舗数】

5.7店

X'mas、忘年会、大掃除…と行事の多い12月。「あれがなかった！」と急な必要に迫られる機会も多い。そんなときに便利な100円均一ショップ(通称・100均)。立地条件と立寄りやすさで県民の娯楽スポットとしてもお馴染みだが、見せて長居をさせるのが衝動買いを誘う仕掛け。ハマらず賢く利用したいところだ。

100均の県内出店状況はどうだろうか。大創産業など国内大手3社のホームページから都道府県別の店舗数を算出した。沖縄県は81店で、人口10万人あたりでは5.7店と、全国第2位の店舗数だ。

手頃な価格と品数で急成長した100均だが、景気には勝てない様子。ポップなデザインで人気の北欧の100均「タイガーコペンハーゲン」が7月に大阪出店し盛況ぶりが話題となったが、100均もこれからは“個性で勝負”の時代へ突入するのだろうか？(海邦総研/屋比久有紀)



掲載日 2012年12月23日

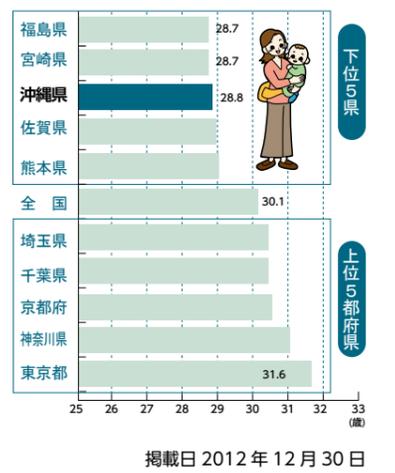
【母親の第1子出産年齢】

28.8歳

子どもを持つなら一番目は女の子、二番目に男の子が良いとされる“一姫二太郎”。一般的に女の子の方が男の子より育てやすく母親の手助けをしてくれるため、女の子が第1子に生まれると理想的な育児ができるといわれている。

厚生労働省「2011年人口動態調査」によると、沖縄県内の女性の第1子出産年齢は、28.8歳。福島・宮崎に続き3番目に若い。出産年齢が最も高いのは東京で31.6歳。全国で9都府県が30歳を超え、晩婚・少子化が危惧されている。

明治安田生命の「名前ランキング」によると2012年生まれの男の子の名前は『蓮』くん、女の子は『結衣』ちゃんがトップ。人との結びつきを大切にしたい子や、たくましい子に育ててほしいなど親の願いを込めて命名されているようだ。来年の「巳年」生まれの子供たちにも、幸多き未来が訪れるよう期待したいものだ。(海邦総研/安田ひろみ)



掲載日 2012年12月30日

おきなわデータ算歩 けーざい100

「データ算歩」は県内でよく話題になる事柄を具体的に数字で裏付けて紹介しようと試みたもので、経済・数字の世界をまさに算(散)歩感覚で楽しませようという内容です。「食生活」「生活・消費」「産業」「住環境」など八項目に分類。漫画やグラフを使い、見開き2ページで1項目を説明しています。アイスクリームやビールの購入額が全国一低いなど意外と思える数字も紹介。読みたい項目から読めるよう工夫しています。

沖縄県内各書店やインターネットでもご購入いただけます。沖縄けーざいを易しく知りたい、興味のある、という方に特にお勧め!

<http://www.kaiho-ri.jp>